



## そのジャケット、裏地を気にしないで脱げる？

《表はきれいなのに、裏地が痛んでいる》

裏地が痛んでいるのを見せないように脱いでいる。ポケットの位置の裏地が痛んでいて前のボタンを開けられない。裏地、袖口がほつれている。そんなジャケットを機会があれば直したいと持っている方。アン・コットンへお持ち下さい。

### ■ 新メニュー・アームシック

裏地が痛んだだけでスーツを着なくなってしまうのはもったいない。裏地を取り換えれば着用可能。裏地の傷で特に私たちが気になったのはジャケットの腕の動きの摩擦による袖下の付け根の傷みです。

そんな袖下の裏地を保護するためにアン・コットンでは新メニューを開発しました。それが、アームシックです。スーツを購入したら傷む前にアームシック取付をお勧めします。傷んだ後でも取り付ければ傷隠しになります。

**俺のジャケット、実は…袖の裏地が傷んでいます。**

どうしてこんなことになるのか？

どうしてこんなことになるのか？

どうしてこんなことになるのか？

どうしてこんなことになるのか？

アン・コットンでは、新メニュー「アームシック」を開発。袖下の裏地を保護する専用の布を取り付け、傷みから袖下を守ります。また、袖口の裏地も取り換え、傷み隠しをします。

### ■ アームシック商品化への道

〈提案〉元テーラードの職人で経験を重ねたスタッフが保護するものを提案

〈開発〉長さ、素材等を検討。腕の動きがある所なので素材にこだわり試作

〈実験〉弊社スタッフが自身のジャケットに付けて1ヶ月着用。どの素材が良いかなど実験し商品化に至る

#### ● 応用

すでに傷がある場合、袖裏を取り換えなくても傷を隠せます

### 大きくなるスマホ。もう少しポケットが深かったらなあ～

電車の中でよく座席にスマホやお財布が落ちています。スラックスのポケットが浅くなっている・スマホが大きくなっているなどが原因かと。スマホは小さくできませんがスラックスのポケットは深くできます！

ポケットに入れたものが落ちないか不安な方はご相談ください。

